

AWS RUNNING COST REDUCTION PLAN

AWS ランニング コスト削減プラン

本番環境 — 実測データ (Cost Explorer・
CloudWatch・サーバ実機) にもとづく削減余地の特定と実
行計画

78% 削減可能 月額 \$774 → \$168
年間 約 \$7,275 の削減余地

対象 S アカウント

コスト実績期間 2025-08 ~ 2026-07 (12ヶ月)

負荷計測期間 2026-07-03 ~ 2026-08-02 (30日)

データ取得手段 Cost Explorer / CloudWatch / 実機
SSH

作成日 2026-08-02

レポートID COST-20260802-01

— Contents

目次

01	エグゼクティブサマリー	03
02	現状のコスト構造	04
03	12ヶ月のコスト推移	05
04	サーバの利用頻度・負荷の実測	06
05	最大の削減余地 — RDS ストレージ	07
06	削減施策の一覧	08
07	推奨アクション — フェーズ1(即時)	09
08	推奨アクション — フェーズ2・3	10
09	削減後の姿	11
10	付録 — 前提条件とデータ取得方法	12

— 01 / Executive Summary

総括



現在の AWS 費用は月額 \$774 (税込・2026年7月実績) ですが、その 54% を RDS のストレージ設定 1 項目が占めています。実測した負荷は、割り当てた性能の 0.1% しか使っていません。

本プランの施策はいずれもアプリケーションの改修を伴わない設定変更であり、フェーズ1 (即時実施分) だけで月額 63% の削減が見込めます。

主要な所見

- RDS に 3,000 IOPS を購入しているが、実測は平均 2.9 IOPS (0.1%)。月額 \$419 のストレージ費用のうち \$364 が使われていません。標準ストレージ (gp3) へ変更するだけで解消します。
- NAT ゲートウェイが 30日間で通信量ゼロ。接続先のサブネットにはデータベースとファイル共有しか無く、外向き通信が発生しません。月額 \$46 が用途なく発生しています。
- 2018年に停止したサーバのディスクが残置。停止中でもディスクは課金され続けており、200GB 分で月額 \$24。あわせて未使用の固定 IP が 3 個 (月額 \$11) あります。
- サーバの台数・サイズは縮小できません。CPU 使用率は 1% 未満ですが、メモリは既に逼迫 (スワップ使用中)。削減余地は「使っていないもの」の整理側にあります。

想定外

02 / Cost Structure

現状のコスト構造

2026年7月の確定実績 (Cost Explorer)。金額は米ドル、下段の内訳は税抜。

月額合計 (税込) 774 USD 約 116,000 円	年間換算 9,288 USD 約 139 万円	RDS が占める割合 65 % 税抜 \$457 / \$704
稼働中サーバ 4 台 停止中 2 台	削減可能額 (月) 552 USD ▼ 税抜ベース	長期契約の利用 0 件 RI・Savings Plans 未購入

カテゴリ別の内訳

税抜 \$704 / 月



費目別の金額 (月額・税抜)

上位8費目

RDS 追加IOPS	359
RDS ストレージ	60
EBS ディスク	56
EC2 サーバ	50
NAT ゲートウェイ	46
固定IPアドレス	45
RDS 本体	39
ロードバランサ	36



— 03 / Trend

12ヶ月のコスト推移

2025年8月～2026年7月の月額合計(税込・USD)。2025年11月～2026年1月の突出は、新旧データベースの並行稼働によるものです。



ピーク(2025年12月 \$1,234)の要因は解消済みです

[Redacted]

しています。この延長サポート料の解消は、移行によって既に得られた成果です。

現在は横ばい — 放置しても下がりません

[Redacted]

04 / Utilization

サーバの利用頻度・負荷の実測

2026年7月3日～8月2日の30日間。CPU は CloudWatch、メモリ・ディスクは実機での確認値。

サーバ	タイプ	役割	CPU 平均／最大	メモリ	ディスク
████-web1	t3.micro	Web	0.44% / 9.0%	904MB中 385MB(スワップ使用)	17GB/100GB
████-web2	t3.micro	Web	0.37% / 8.0%	904MB中 368MB(スワップ使用)	17GB/100GB
████-batch_new	t3.small	バッチ	0.89% / 8.3%	1,901MB中 332MB(スワップ 415MB)	18GB/100GB
████-dev	t3.micro	検証	0.74% / 10.3%	904MB中 299MB(スワップ 540MB)	11GB/30GB
████-db-new	db.t3.small	DB	3.98% / 52.3%	2GB中 空き 740MB	14.9GB/400GB

アクセス量は 1 秒あたり 0.09 件 — サーバ性能は十分すぎる水準

スケーラビリティを確保するため、アクセス量が増加した場合、サーバの数を自動的に増やすことが必要です。現状のサーバ構成では、アクセス量が増加した場合、サーバの性能が十分すぎる水準で、スケーラビリティを確保することができません。

ただし「サーバを小さくする」削減はできません

現状のサーバ構成では、アクセス量が増加した場合、サーバの性能が十分すぎる水準で、スケーラビリティを確保することができません。そのため、サーバの数を自動的に増やすことが必要です。現状のサーバ構成では、アクセス量が増加した場合、サーバの性能が十分すぎる水準で、スケーラビリティを確保することができません。



— 05 / Root Cause

最大の削減余地 — RDS ストレージ

月額 \$774 のうち \$419 (54%) を占める、データベースのディスク性能設定について。

購入している性能

3,000 IOPS

最上位ディスク (io2)

実際に使っている性能

2.9 IOPS

▲ 割当の 0.10%

30日間の最大瞬間値

141 IOPS

割当の 4.7%

この設定の月額

419 USD

うち \$364 が削減可能

ディスク性能の割当と実測 (IOPS=1秒あたりの読み書き回数)

割当 (購入済)		3,000
30日間の最大値		141
平均 (書き込み)		2.5
平均 (読み込み)		0.4

標準ストレージ (gp3) へ変更すれば、性能を落とさずに月額 \$364 が削減されます

月額 \$774 のうち \$419 (54%) を占める、データベースのディスク性能設定について。

あわせて、容量も 400GB に対して実使用 14.9GB (3.7%) です

— 06 / Measures

削減施策の一覧

削減額の大きい順。金額は税抜・月額 USD。効果欄は削減インパクトの区分。

ID	効果	施策	月額	年額	リスク	工数
C-01	● 特大		364	4,364	低	0.5 日
C-02	● 大		46	553	低	0.5 日
C-10	● 大		41	497	中	2.0 日
C-03	● 中		24	286	低	1.0 日
C-04	● 中		18	217	中	0.5 日
C-06	● 中		12	148	低	0.2 日
C-07	● 中		13	157	低	0.2 日
C-05	● 小		11	134	低	0.2 日
C-11	● 小		8	96	低	0.2 日
C-09	● 小		7	89	低	—
C-08	● 小		6	78	中	0.5 日
C-12	● 情報		—	—	低	0.5 日
—	● 情報	合計	552	6,619	—	6.3 日



— 07 / Phase 1

推奨アクション — フェーズ1(即時)

アプリケーション改修が不要で、サービス停止も伴わない設定変更のみ。合計 月額 \$445・年額 \$5,337 の削減。

P1 C-01 RDS ストレージを gp3 に変更する



P1 C-02 NAT ゲートウェイを削除する



P1 C-03 2018年停止サーバのディスクを整理する



P1 C-05 未使用の固定IPアドレスを解放する



実施順序の推奨

C-01 を最初に実施してください。単独で全削減額の 66% を占め、かつ最も低リスクです。C-02・C-03・C-05 は相互依存が無いため、任意の順序で並行して進められます。



— 08 / Phase 2 & 3

推奨アクション — フェーズ2・3

運用方針の判断(P2) と、作業を伴うもの(P3)。合計 月額 \$107・年額 \$1,282 の削減。

P2

P2

P2

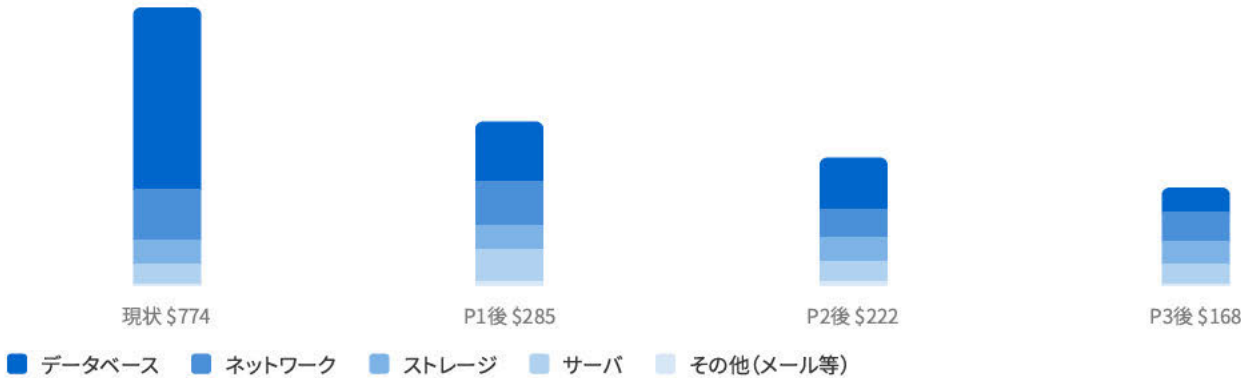
P3

P3

09 / After

削減後の姿

フェーズごとの月額推移 (税込・USD)。税は各区分に按分。円換算は 1 USD = 150 円で試算。



フェーズ別の効果

フェーズ	月額	年額	削減率	内容
現状	\$774	\$9,288	-	約 139 万円／年
フェーズ1 実施後	\$285	\$3,422	63%	設定変更のみ・停止なし
フェーズ2 実施後	\$222	\$2,665	71%	運用方針の判断を含む
フェーズ3 実施後	\$168	\$2,013	78%	約 30 万円／年

フェーズ1 だけで年間約 88 万円

フェーズ1 の 4 施策 (合計 2.2 人日) はサービス停止も改修も伴わず、年間 \$5,866 (約 88 万円) の削減になります。フェーズ2・3 は運用方針の判断や停止時間の確保が前提となるため、フェーズ1 を先行実施し、効果を確認したうえで検討することを推奨します。